

【荒到夢形（こうとうむけい）講談演目】 2015. 11. 19. 現在

【I】北海道関係

- [1] 函館 (1) 『赤い靴伝説』 (2) 『石川啄木伝～啄木の北海道入り～』  
(3) 『榎本武揚伝』 (4) 『梅津福次郎伝』  
(5) 『神山町開拓小史』 (6) 『蛾眉野開拓小史』  
(7) 『グロウド神父伝』  
(8) 『相馬哲平伝』 (9) 『高田屋嘉兵衛伝』  
(10) 『戸井高校設立の顛末』 (11) 『戸井高校無線通信科設立の顛末』  
(12) (田辺南鶴原作「十二の証人」より) 『新島襄の函館出港』  
(13) 『函館朝市物語』 (14) 『函館イカ物語』  
(15) 『函館市電の軌跡』 (16) 『函館四天王物語～平田文右衛門伝～』  
(17) 『函館北斗ライオンズ・クラブ50年の歩み』  
(18) 『土方桜』 (19) 『ペリー来航余話』  
(20) 『北海道中小企業家同友会函館支部の軌跡』 (21) 『益田喜頓伝』  
(22) 『湯の川温泉の由来』 (23) 『湯の川小学校設立の顛末』
- [2] 北斗 ① 『斎藤三平伝』 ② 『島崎冬子伝』  
③ 『男爵いもの由来～川田龍吉伝～』 ④ 『中川五郎治伝』
- [3] 森 ① 『葛原猪平伝』
- [4] 八雲 ① 『辨開胤次郎伝』
- [5] 今金 ① 『荻野吟子伝』
- [6] 乙部 ① 『乙部開拓小史』
- [7] 蘭越 ① 『スキーと昆布温泉郷』
- [8] 木古内 ① 『成臨丸の最期』
- [9] 福島 ① 『横綱千代の山伝』 ② 『青函トンネルのできるまで』
- [10] 鹿部 ① 『鹿部復興物語～駒ヶ岳の噴火～』
- [11] 様似 ① 『志を持つ男～伊能忠敬伝～』
- [12] 栗山 ① 『栗山の泣く木伝説』 ② 『小林酒造小史』  
③ 『(栗山英樹原作) 栗の樹ファームのできるまで』
- [13] 室蘭 ① 『室蘭清水丘高校設立の顛末』
- [14] 札幌 ① 『ウィリアム・クラーク伝』
- [15] 小樽 ① 『(三浦綾子原作) 母』
- [16] 旭川 ① 『(三浦綾子原作) 氷点』 ② 『(三浦綾子原作) 道ありき』
- [17] 和寒 ① 『(三浦綾子原作) 塩狩峠』
- [18] 釧路 ① 『石川啄木伝～釧路の女難～』  
② 『原胤昭伝～釧路集治監・硫黄山採掘作業中止の顛末～』
- [19] 網走 ① 『流氷の子どもたち』

[20] 浜中 ① 『霧多布伝説～イメカノとカントールカ～』

[21] 遠軽 ① 『留岡幸助伝』

[22] その他 ① 『(小林多喜二原作) 蟹工船』

ほか

【II】北海道以外の作品

- ① 『青木昆陽伝』 ② 『安積良斎伝』 ③ 『イエス・キリストの降誕』  
④ 『太田道灌の初恋～石神井公園物語～』 ⑤ 『憲法成立の顛末』  
⑥ 『吉縁の里～杉田玄白と前野良沢～』 ⑦ 『五代目柳家小さん伝』  
⑧ 『言霊～大伴家持の少年時代～』 ⑨ 『聖バレンタインデーの由来』  
⑩ 『高田屋嘉兵衛伝～おふさとの馴れ初め～』 ⑪ 『竹嶋マキエ一代記』  
⑫ 『坪内逍遙伝』 ⑬ 『新美南吉伝』 ⑭ 『福沢諭吉と大隈重信』 ⑮ 『亀田鵬斎伝』  
⑯ 『日本映画史～高倉健の少年時代～』 ⑰ 『田中正造伝』 ほか

【III】古典講談

『赤穂義士伝』 『徳川天一坊』 『和田平助』 『正直俵夫』 『春重出世富札』  
『熊沢蕃山廓のご意見』 ほか

【略歴】 本名 荒井 到 (あらい いたる)

1960(昭和35)年3月24日秋田生まれ。学生時代は東京、卒業後北海道へ。室蘭・美幌・函館・釧路の高校で教員を勤めた後、定年前に退職(悪い事をしたわけではない)。

2002年神田愛山主宰講談作家教室修了。2003年初高座。  
東家夢助事務所・道南落語倶楽部・釧路落語長屋二杯会・釧路落語めい人会所属。

講談のご注文・お問い合わせ先

〒041-0841 北海道函館市日吉町4-7-4 Tel・fax 0138-32-7781

携帯 080-3266-8044



(函館市青年センターでの高座より)